

授 業 科 目 名	図画工作科教育法 I	教 員 名	守川 美輪	免許・資格 との関係	小学校教諭	必修
					幼稚園教諭	
					保育士	
授 業 形 態	演習	担当形態	単独		こども音楽療育士	
科 目 番 号	SID204	配当年次	2年後期	卒 業 要 件	小幼コース	必修
単 位 数	2単位				幼保コース	選択
科 目	教職に関する科目（教育課程及び指導法に関する科目）（小学校）					
施 行 規 則 に 定 める 科 目 区 分 又 は 事 項 等	・各教科の指導法					
科 目						
系 列						
一 般 目 標	学習指導要領に示された図画工作科の目標や内容を理解する。また、基礎的な学習指導理論を理解し、具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付ける。					
到 達 目 標	<p>(1) 図画工作科の目標及び内容について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 学習指導要領における図画工作科の目標及び主な内容並びに全体構造を理解している。</li> <li>2) 個別の学習内容について指導上の留意点を理解している。</li> <li>3) 図画工作科の学習評価の考え方を理解している。</li> <li>4) 図画工作科と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。</li> </ol> <p>(2) 図画工作科の指導方法と授業設計について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 子供の認識・思考、学力等の実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。</li> <li>2) 図画工作科の特性に応じた情報機器及び教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用することができる。</li> <li>3) 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成することができる。</li> <li>4) 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身に付けている。</li> </ol>					
授 業 の 概 要	<p>図画工作科の学習指導要領の目標、内容構成、指導計画の作成と内容の取り扱いを理解する。各学年で扱う造形遊び・絵に表す・立体に表す・工作に表す・鑑賞について、その目標と内容方法、評価、指導上の留意事項等について実技を取り入れながら体験的に学ぶ。図画工作科教科書を参考にし、指導したい内容を決定し、試作品をつくった上で、図画工作科学習指導案を作成する。製作活動における発達段階や図画工作科教育の歴史、生涯学習の視点について知る。</p> <p>アクティブラーニングとして、各学生が自分の思いを持って作品に表現する。また、図画工作科教科書を参考にし、指導したい内容を決め、試作品をつくった上で、図画工作科学習指導案を作成する。さらに、一部の学生が導入部分の模擬授業を行い、良かった点、改善すべき点を話し合う。授業形態は演習とする。</p>					
ディプロマ・ポリシーとの関係	本講義は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「5. 教育実践力を身につけている」「6. 教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」を育成する科目として配置している。					
授 業 計 画	<p>第1回：授業計画及び「鑑賞レポート」についての説明を聞く。</p> <p>図画工作科の目標及び内容構成を理解する。</p> <p>紙版画の版をつくる。（紙版画について理解し、テーマを「図画工作指導観」とし、アイディアスケッチをした上で、紙版を製作する。）（目標(1)-1), 2), 4))</p> <p>第2回：図画工作科指導計画の作成及び子どもの絵の発達段階について理解する。</p> <p>紙版画の印刷をする。（ローラーグラデーションの技法を使い、印刷をする。）（目標(1)-1), 2), 4), (2)-4))</p> <p>第3回：図画工作科内容の取り扱いを理解する。</p> <p>色彩についての理解を深める。（減法混色の三原色の混色によって12色相環をつくる。色の三属性を知り、混色によって様々な色をつくる。色彩調和理論、色の感情効果について学ぶ。）（目標</p>					

	<p>(1)-1), 2), 4)</p> <p>第4回：絵や立体、工作に表す内容を理解する。 水彩絵具の技法を知る。(水彩絵具の技法を学び、その技法を生かして各自テーマを決めて描く。)(目標(1)-1), 2), 4)</p> <p>第5回：造形遊びの内容を理解する。 抽象画を描く。(クレヨンで対照的な概念を描くことで、色や形で、自分の思いを表現できることを体験的に知る。)造形遊びを体験的に理解する。(木の葉や木の枝を採集し、材料から思いつくものを製作する。)(目標(1)-1), 2), 4)</p> <p>第6回：観点別評価の観点、図画工作科教育の歴史、図画工作科学習指導案の書き方を理解する。 学習指導案を作成する。(図書館に移動し、教科書や指導資料を参考にして学習指導案を作成する。)(目標(1)-1), 2), 3), (2)-1), 3))</p> <p>第7回：鑑賞の内容を理解する。 作品鑑賞をする。(これまでに製作した平面作品を鑑賞する。色や形、イメージについて話し合うことで、絵の鑑賞方法を体験的に知る。また、絵から感じ取れる製作に対する意欲や創造的な技能、発想や構想の能力について、意識して話し合うことで、図画工作の評価について理解する。)(目標(1)-1), 2), 3), (2)-1))</p> <p>第8回：自分が作成している図画工作科学習指導案の試作品を製作し、製作上の気づきを生かして学習指導案の修正をする。さらに、模擬授業で活用できる教材を作成する。(目標(2)-1), 2), 3))</p> <p>第9回：木工工作の材料・道具・取り扱いについて理解する。 木工工作の木取り・切断をする(自分の製作したいものの設計図を書き、無駄のない木取りをした上で切断する。)(目標(1)-1), 4)</p> <p>第10回：図画工作科学習指導案及び試作品の検討をする。(4人のグループで指導法についての検討をする。また、試作品の鑑賞をし、鑑賞についての能力を高めるグループでひとつ導入場面の模擬授業をするテーマを選ぶ。) 木工工作の研磨・組み立てをする。(大きさが適さない場合は切り直すなどした上で、紙やすりを使って研磨し、木工用ボンドを使って接着する。)(目標(1)-1), 2), 3), 4), (2)-1), 3))</p> <p>第11回：図画工作の評価内容と方法を知る。 美の構成要素について知る。 木工工作の組み立て・塗装をする。(必要な場合は釘打ちをする。組み立て後に再度研磨をする。塗料を選んで塗装をする。)(目標(1)-1), 2), 3), 4))</p> <p>第12回：木作品の展示をする。(展示用プレートを作成し、作品展を行うことで、展示の方法や、展示の際の留意事項、美しい配置について理解する。) 木版画の材料・道具・取り扱いについて理解する。 木版画の下絵転写、製版を行う。(下絵を基に色分解し、版木に転写をするし、彫刻刀で彫る。)(目標(1)-1), 4))</p> <p>第13回：模擬授業と研究協議を行う。(絵に表す内容と、立体に表す内容、つくりたいものをつくる内容、工作に表す内容、について導入部分のみ4つの模擬授業を行い、良かった点、気になった点について話し合う。)(目標(2)-1), 2), 4))</p> <p>第14回：木版画の試刷りをし、修正する。(1枚刷ってみて、彫りの確認をし、修正をする。また、インクの色についても検討する。) 作成した学習指導案に対する個別の助言を受ける。(目標(1)-2), 4), (2)-1), 2), 3))</p> <p>第15回：これまでに造形表現や図画工作について学んできたことについて意見交換をする。 木版画の本刷りをする。(6枚以上刷る。) 作成した学習指導案に対する個別の助言を受ける。(目標(1)-2), 4), (2)-1), 2), 3))</p> <p>期末試験</p>
<p>学生に対する 評価</p>	<p>期末試験50% 作品35% 指導案10% 鑑賞レポート5%</p> <p>なお、作品・学習指導案・答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。 ・作品については、授業中に鑑賞する機会を持つ。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業またはオフィスアワーに、口頭で行う。</li> <li>・答案例を配布する。</li> </ul>
時間外の学習について	<p>(事前・事後学習として週4時間以上行うこと。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前にアイデアスケッチをするなどの課題を課す場合がある。その際は各自製作したいイメージをスケッチしてくる。必要に応じて、課題に関わる図書等を参考にすること。</li> <li>・「鑑賞レポート」は、実際に美術館や博物館等で開催される展覧会に足を運んだ上で、その展覧会を鑑賞して気づいたことや学んだことを原稿用紙2枚(ワードで800字)程度にまとめて提出すること。</li> <li>・授業時間内に作品は完成しない。各自時間をかけて、納得できるものとなるよう追究して仕上げる。作品の提出期限を示した提出作品チェックリストを配布するので、計画的に時間外学習をすすめてほしい。</li> <li>・学習指導案作成にあたっては、自分が作成する学年の図画工作科教科書や指導資料等を図書館から借りるなどして目を通し、参考にしながら作成する。グループ内での学習指導案発表にあたっては、発表したいことを明確にしておく。導入部分の模擬授業においては事前に担当教員と相談した上で、練習や提示する教材を作成しておき、自信を持って臨めるようにしてほしい。</li> <li>・時間外学習において1-334教室を使ってよい。その際、事前に担当守川にメールで連絡すること。</li> </ul>
テキスト	『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 図画工作編』
参考書・参考資料等	『小学校学習指導要領(平成29年告示)』 『小学校学習指導要領解説 図画工作編』
担当者からのメッセージ	この科目を受講する前に「図画工作」を履修し、基礎技能を習得しておくことが望ましい。 事前に学生準備物を示すので、忘れず準備すること。道具等の購入場所が分からない場合は担当教員に相談すること。 意欲を持って取り組む学生が、図画工作科に関わる、技能・感性・創造性を伸ばしている姿をこれまで多く見ている。追究心を持って取り組むこと(やり直しをいとわず、よいものをつくろうとすること)を期待している。
オフィスアワー	毎週火曜日 14:40~16:10